

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ロブチェンが日本ダービーを制して二冠達成

5月31日(日)に行われた東京優駿(日本ダービー・G I)ではロブチェン(牡3歳/栗東・杉山晴紀厩舎)が前走・皐月賞に続いて1番人気で優勝しました。皐月賞、日本ダービーの3歳クラシック二冠達成は史上25頭目のこととなります。

●D.レーン騎手がJRA通算200勝を達成

5月30日(土)の2回東京11日・第3レースではワディアルリヤハが1着となり、同馬に騎乗したダミアン・レーン騎手(オーストラリア)は、JRA通算200勝(875戦目)を達成しました。JRA所属外の外国人騎手としては史上6人目の200勝達成となります。

●菊沢一樹騎手がJRA通算200勝を達成

5月30日(土)の2回東京11日・第7レースではトリアンフパスが1着となり、同馬に騎乗した菊沢一樹騎手(美浦・フリー)は、現役57人目(上記レーン騎手などJRA所属外の外国人騎手を除く)となるJRA通算200勝(5328戦目)を達成しました。

●トラッキングシステムの対象レース拡大

レース中継画面に出走馬の馬番をグラフィック表示し、各馬の位置取りやコース上の現在地などを伝える“トラッキングシステム”の対象レースが6月6日(土)から拡大されることとなりました。これまでの特別レースにメイクデビューと障害レース(障害イラストも表示)も加え、各競馬場1日最大6レースが対象となります。

●千葉サラブレッドセール

5月22日(金)、船橋競馬場にて「千葉サラブレッドセール2026」(主催・千葉県両総馬匹農業協同組合)が開催されました。上場された60頭(牡45頭・牝15頭)のうち57頭(牡44頭・牝13頭)が売却され、売却率95%、売却総額22億9999万円を記録。最高価格をつけたのは、牡馬がディアウトオブジオフィスの2024(父キタサンブラック/母は米G1勝ち馬)で2億4200万円、牝馬がレディフォグホーンの2024(父ミッキークーアイル/母は米G2勝ち馬)とラウドワングスの2024(父ホットロッドチャーリー/近親に朝日杯フューチュリティS勝ち馬ゴスホークケン)で1億1200万円でした(金額はすべて税込)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●兵庫の吉村智洋騎手が地方競馬ジョッキーズCSに総合優勝

6月2日に船橋で3レースのポイント制で争われた2026地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップは、7、14、1着という成績の吉村智洋騎手(兵庫)が1ポイント差の激戦を制し、2026ワールドオールスタージョッキーズの地方競馬代表候補騎手となりました。

●東北優駿(水沢)でレジェンドパローズ復活【各地の主要3歳重賞】

東北優駿(5月31日、水沢、2,000万円)は、2番手から向正面半ば過ぎに先頭に立った2番人気のレジェンドパローズ(牡、父コパノリッキー)が、単勝1.6倍で断然人気の重賞6勝牝馬セイクリスティーナを3馬身引き離し、8ヶ月の休養明けで5着と初黒星を喫したダイヤモンドCからの巻き返しに成功してビギナーズCに次ぐ重賞制覇。新設重賞の佐賀かささぎスプリント(5月17日、佐賀、1,300万円)は、岩手デビュー、船橋を経て佐賀に来たラウダーティオ(牡、父ワールドエース)が、差のある3番手追走からゴール前の接戦を制し、単勝1.6倍の支持に応じて岩手時代のネクストスター盛岡以来となる重賞タイトルを獲得しています。

●二冠を狙うフィンガーらが参戦、6月10日の東京ダービー(大井)

東京ダービー(Jpn I、3歳、6月10日、大井、2,000万円)は、羽田盃を逃げ切ったフィンガーが最有力も、ロックターミガン、リアライズグリント、シルバーレシオも大きな差はなく、展開ひとつで結果が変わる可能性があり、ゴッドフェンサー(兵庫)、ロウリュ(大井)が地方最先着を目指します。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1仏ダービー～コンスティテューションリバーが制す

現地5月31日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG1仏ダービー(3歳牡牝、芝2,100万円)はアイルランドから遠征したコンスティテューションリバー(牡3歳)がR.ムーア騎手を背に道中3番手追走から直線で抜け出して3/4馬身差で優勝しました。2着にG1フューチュリティトロフィーSの勝ち馬ホークマウンテン、3着にはリステッドのシュレンヌ賞2着から臨んだモンリオールが入ってA.オプライエン厩舎の管理馬が1～3着を占めました(1、2着馬はともにウートンバセットの産駒)。勝ったコンスティテューションリバーはG1英チャンピオンズフィリーズ&メアズS(芝2,390万円)やG1ロワイヤリユ賞(芝2,800万円)を制したワンダフルトゥナイトの甥。2歳7月にデビュー2戦目(芝1,400万円)で初勝利を挙げると、続く8月のG2愛フューチュリティS(芝1,400万円)も連勝しましたが怪我で休養入り。その後、今季初戦となった5月のディーS(リステッド、芝2,060万円)を7馬身差で圧勝してここに臨んでいました。